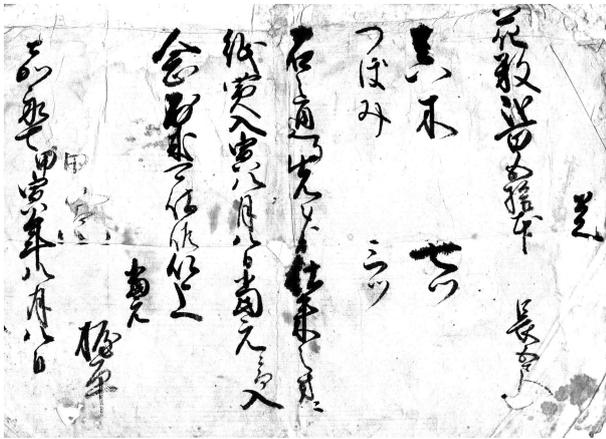


# 郷土文化財紹介

## 古文書シリーズ

### 〈花馬の花串の数と祭の日取り〉

古文書のひとつに下組花馬の花串作りの記録があります。嘉永7年(1854年)8月から平成11年(1999年)10月までの145年間毎年記されたもので、これだけの記録を残して下さったことに敬意を表します。非常に貴重な史料で、大切に保存して行きたいと思えます。ここから花馬祭について幾つかのことが分かりました。



↑古文書「覚」 ↓「覚」の書き下し文

|            |               |
|------------|---------------|
| 嘉永七甲寅年八月八日 | 覚             |
| 握平         | 花数式百五拾本 長五尺   |
| 當元         | 真木 七ツ         |
|            | つぼみ 三ツ        |
|            | 右之通り先々ヨリ仕来候方ニ |
|            | 紙買入寅八月八日當元ニ而入 |
|            | 念出来可仕候以上      |

花ぐしの数は、嘉永7年から大正10年までは250本、大正11年から昭和2年まで300本、その後450本から500本の数が記されています。平成11年には600本とあります。

また、花ぐしの長さは、嘉永7年から昭

和15年まで5尺(151.5cm)とあります。昭和16年から4尺5寸(136.35cm)に変わります。

この古文書は花ぐしを間違いなく作ったという記録で、その日付が明治32年(1899年)までは8月(多くは8月8日)となっていて、明治5年神社合祀の記録には祭日8月15日と記されています。これらのことから、坂下の花馬祭は8月15日に執り行われていたと考えられます。明治33年(1900年)9月8日から、大正11年(1922年)9月1日と記されるので、この間は祭の日取りは9月中旬と考えられます。大正12年には4月1日とし、昭和24年まで4月7日前後で花串づくりが行われます。祭は4月15日坂下神社春季例大祭として行われたのでしょうか。昭和25年から昭和34年には、9月8日花串作り、祭は9月中旬の様です。昭和35年以降は、花串作りの日取りが9月中旬から10月5日と幅があり、花馬祭は10月10日前後と決められたのでしょうか。



↑花串500本を背負う花馬

(2010年10月「だからあるいてゆくんだよ。のブログ 花馬祭り その2」より)

現在、花馬祭は10月の第2日曜日と定められ、花串の数は1年365日に因み365本とされています。